

社会医療法人 清風会  
法人だより

# 清風

夏号  
2019年8月1日

vol.63



▲廿日市記念病院 新館2階 中庭



社会医療法人 清風会



五日市記念病院・廿日市記念病院は  
(公財)日本医療機能評価機構の認定病院です



# 経営改善への取り組み

社会医療法人 清風会 理事長 梶原 四郎

## はじめに

中国山地のかつての豪雪地に雪が少なくなり、5月に真夏日を経験するなど地球温暖化が進行しつつあり、少子高齢化の中で高齢者の交通事故や中年の引きこもりなどが問題視され、これから先の日本のみならず地球の存続すら心配になってきますが、環境がどんなに変わろうと地球は確実に回転し、今年も7月1日の開設記念日を迎えました。平成3(1991)年7月の五日市記念病院の開設より28年間が経過し、平成29年10月には当初からの希望であった社会医療法人となり、地域医療に貢献出来る体制がほぼ出来つつあると思われます。

しかし、ここまで来るには多くのスタッフの苦労と、関係者のご支援、ご協力があったことを忘れてはいけません。

今回は法人の歴史についてのシリーズ7回目として、社会医療法人化の前段階までについて述べることにします。

## 前回までの法人の歩み

平成3(1991)年7月:五日市記念病院の開設(95床の個人病院)  
平成4(1992)年9月:週40時間労働制(週休2日制)の導入  
平成7(1995)年10月:第1期増築(更衣室、ドクタールーム他)  
平成9(1997)年11月:第2期増築(手術室、6床のICU、25床の病室)  
平成10(1998)年1月:管理職の年俸制と任期制の導入  
3月:増床(95床→120床へ)  
4月:職能給制度の導入  
10月:医療法人成り(医療法人社団 清風会の発足)  
平成11(1999)年2月:職員宿舍プルミエの建設(16戸、34.5㎡/戸)  
廿日市記念病院の開設許可  
12月:管理棟の建設(3階建、416㎡)  
永久保存のカルテ資料庫の完成  
平成12(2000)年6月:廿日市記念病院の開設(109床)  
平成13(2001)年1月:(廿)緩和ケアの開始  
6月:(廿)回復期リハビリ病棟の開始  
10月:職員宿舍の増築(1K19戸、2LDK3戸へ)

保育室の改築と拡大(2倍、144.2㎡)

平成16(2004)年9月:(廿)増築、増床(109床→135床)

緩和ケア病棟の改築と充実

平成19(2007)年1月:(五)ICU4床の閉鎖

4月:(五)増築、増床(120床→180床)

7月:(五)電子カルテの導入

## 労務倒産か?

平成18(2006)年4月の診療報酬改正による「7:1」の新看護基準は急激な看護師不足を招き、民間病院を窮地に陥れました。我々も例外でなく、平成17(2005)年9月から増築、改修工事中であった五日市記念病院では、竣工を前にした平成19(2007)年1月に4床のICUを廃止して看護師を各病棟へ異動させ、廿日市記念病院では療養病棟を介護保険移行準備病棟へ変更するなどの対応を迫られました。

未来への希望であった五日市記念病院の増築、増床は平成19(2007)年4月に竣工したものの、辛うじて凌いできた状態では増床に対応仕切れず、増床部分のみならず一部の病床閉鎖を余儀なくされました。

当然ながら経営状態は悪化の一途をたどり、看護師不足による「労務倒産」へと向かって行きました。平成20(2008)年末の運転資金の枯渇を前にして、開設初期と同様に冷汗をかいて眼を覚まし、眠れない日が続きました。

どうしようもない状態ではありましたが、手をこまねいていても仕方ありませんので、五日市記念病院では支出の削減とは裏腹に業務のIT化による業務改善を目指して、平成19(2007)年7月に電子カルテを導入し、新病院施設基準(一室4床以下、6.4㎡/人以上、廊下幅2.7m以上)となると共に135㎡から437㎡へ拡大したりハビリ室を活用し、平成20(2008)年1月に回復期リハビリ病棟(30床)を開設し、12月には60床へと増やして行きました。一般病棟だけで運営してきた120床の五日市記念病院が180床のケアミックス病院へと変貌して行くきっかけとなりました。

五日市記念病院の赤字経営は廿日市記念病院の黒字経営では補いきれず、法人内での経営努力ではどうしようもない状態が続きましたので、やむを得ず融資を受けている金融機関へ協力を仰ぐことにしました。平成20(2008)年のリーマン危機後に民主党政権下で制定された中小企業金融円滑化法(モラトリウム法)の適応を申し出ると、厳しさの中にも法人の地域医療での必要性和将来性を理解され、運転資金の枯渇を前にして元金の支払い猶予を受けることが出来、「労務倒産」の危機を回避することが出来ました。

## ■ 経営改善と今後の課題

2年間のモラトリウム(元金の支払い猶予)とその後の元金の支払いの減免により経営状態の改善と運転資金の回復が成されて来ましたので、法人全体で一つの電子カルテシステムで動けるようにするため、平成27(2015)年1月にプライベートクラウド化を行って五日市、廿日市記念病院が共通で電子カルテを使用することが出来るようにしました。これにより五日市と廿日市とでカルテ記載の互換性が可能となり、外出先でもタブレットなどで電子カルテを使用することが出来るようになりました。これに伴って法人内での人事異動が容易となり、所謂「清風会病院」の概念(両病院が一体となって動ける体制)を進めて行くことが出来るようになりました。

五日市記念病院の経営改善が進む中で、法人の理念である「社会に望まれる医療」の実現を考慮すると、広島県の西地区に一施設しかない廿日市記念病院の緩和ケア病棟が、15床では充分に対応が出来ていないと判断しました。黒字経営であった廿日市記念病院の病棟編成を変えることに異論がない訳ではありませんでしたが、地域の医療ニーズに応えることを優先し、平成27(2015)年7月に緩和ケア病棟を24床に増床しました。これに伴い全体で135床から126床へと9床の減床をしなければなりませんでした。現在まで24床の緩和ケア病棟で20人を超える入院患者を維持し、今まで以上に広島県西部の緩和ケアに貢献することが出来ています。

因みに、広島県の他の緩和ケア10施設は20床以下で、隣の山口県では6施設中5施設が20床を超えて3施設が25床となっています。

また、時代に合わなくなった企業年金である広島県病院厚生年金基金について、以前から理事として会議で解散を主張し、平成28(2016)年9月に解散へと導くことが出来ました。これに伴って同年9月から法人独自の確定拠出年金制度を導入し、法人としての体制整備の一つを加えることが出来ました。

しかし、「7:1」の新看護基準に因る看護師不足も次第に解消されつつあり、他のコ・メディカルスタッフの充足も出来つつあるとは言え、民間の医療法人としては種々の課題を抱えていました。

- 今後の医療費の抑制や削減に因る法人の収入減少
- 増え続ける人件費に因る収益率の更なる低下
- 人材確保の困難さ……殊に最近では介護職員
- 経営者(理事長)の抱える個人病院時代からの負の遺産
- 連帯保証と後継者問題

などが主な課題として挙げられますが、どれを取っていても厄介な課題です。

経営改善が進む一方、課題の解決には開設当初からの希望であった財団法人化(ほぼ同様な社会医療法人化)が必要であると考えていた所、平成28(2016)年春から外部のコンサルタントの協力を受けることが出来、難題の解決に取り組んで行きました。

また、「今からの病院経営は金融機関と二人三脚で行う必要があり、そのためにはメインバンクのスタッフが病院へ出向して生の病院、医療を知って欲しい」との、非常識とも思われる長年の私の希望を受け入れて貰い、平成29(2017)年4月からメインバンクのスタッフが2年間の予定で赴任してくれました。「銀行管理」とうがった見方をされるかもしれませんが、今後経営が共に苦しくなることが予想される金融機関と医療機関が包み隠さず情報を共有し、協力することが生き残りのために必要な手段と考えてのことでした。当初はお互いに戸惑いがありましたが、日ごとに気持ちを通じ合い、本当の病院職員同様の活躍をしてくれて違った角度での意見を貰うことも出来、更にはメインバンクとのスムーズなパイプ役をも演じてくれました。

(続きは次回に述べさせていただきます)

## ■ おわりに

平成は2019年5月1日を以て令和と年号が変わり、昭和22年生まれの私は昭和、平成、令和と三つの年号を生きることになりました。マスコミを中心に5月1日を機にあたかも新しい時代がやってくる様な騒ぎようでしたが、私には2019年5月1日が過ぎただけに感じられます。

なぜなら、世界各地でテロや紛争が絶えず、アメリカを中心とする自国ファースト(利己主義?)は対立を助長し、格差社会は貧困の拡大を生み、世界的に人に対する優しさが欠けつつあるようです。また、国内に眼を移すと「老後2,000万円必要問題」を始めとして政治家の不誠実さは目に余るものがあり、年号が変わっても何も変わって行かないように感ずるからです。

人が動物と違うのは自分以外に対して思いやる気持ちを持つこと、即ち、「1.5人の気配り」が出来ることだと思います。

医療、介護領域では2025年問題を中心に困難な状況が待ち受けていますが、法人の理念を忘れることなく、それぞれの任務を全うしてチームとして力を発揮し、協調と協力の下で心豊かな人生にして欲しいと願っています。

# 3テスラMRIの導入

五日市記念病院 院長 <sup>むかだ</sup>向田 一敏



**令** 和元年になった早々から、5月というのに全国的に30℃を越える真夏日が記録されました。年々、日本の夏は熱帯気候に近付いているのを実感します。脳梗塞が夏場に発生する頻度が高いことは、統計上も既に明らかにされていますが、その要因のひとつに暑さによる脱水が挙げられています。皆さん、水分摂取を怠らないようにご注意ください。

さて、五日市記念病院では、現在の1.5T(テスラ)の磁場強度を持つ超伝導MRI装置に加え、2倍の磁場強度を持つ3TのMRI装置を導入する準備を進めています。併せて、その機器を設置する建屋として本館南東側に隣接する場所に増築棟を建設することが可能となったため、臨床検査室などの拡充や、約160人を収容出来る研修室を造ることも検討しています。

当院では脳卒中診療を中心に、脊椎疾患を含む脳神経疾患に対応すべく診療を行っています。外傷を除く多くの疾患においてMRIを第一選択の検査法として実施しています。脳梗塞に対するrt-PAを用いた血栓溶解療法や血栓回収術が行われるようになって以降、治療開始までの時間的な制約は重要なポイントとなっていることから一刻も早くMRIを実施して診断する必要性があります。このため、たまたま救急搬入に遭遇された検査受診患者さんには、予約しているにも拘わらずお待ち頂かねばならないことが発生していました。今後、2台のMRIが稼動するようになりましたら、その様なご迷

惑をおかけせずに済むと思います。

3T-MRIは、これまでのMRIと比べ更に高画質で、検査時間が短縮され、他にもいろいろな機能を有しています。それにより頭部、脊椎・脊髄の他、心臓や全身血管系、腹部臓器、関節の検査に威力を発揮するものと考えています。MRIは放射線を使用していないので、身体に対する害がほぼないと言ってよい検査法です。短所である検査時の大きな騒音も、今回導入予定のものにおいては静音装置によりぐっと軽減されています。

現時点での予定では、2020年3月に増築棟建設に着工し、12月末頃に竣工。既存棟の改修工事や接続部分の工事を経て、2021年3月末には全てが竣工し、4月から新MRI装置を使用出来るものと考えています。その間、特に建物工事の施工に際しては、騒音などで患者さんや近隣の方々にはご迷惑をおかけすることになりますが、ご容赦頂きたいと存じます。

新たなMRIを導入後は、2台のMRIを用いて急性期脳血管障害をこれまで以上に迅速に診断し、早期の適切な治療実施に繋がると共に、320列CTも駆使して脳や心臓を含む全身の血管病的確な診断と適切な治療を行っていく所存です。今後とも患者さんをご紹介頂きますよう宜しくお願い致します。

さて、もうひとつ紹介させて頂きたいことがあります。

この7月より、毎月第1土曜日に【てんかん専門外来】を開設しました。てんかんと言えばけいれん発作と同じように思われる方が多いかと思います。しかし、けいれんを伴わないてんかん発作にもしばしば遭遇することがあり、多種多様な症状を呈するため脳外科専門医でも診断に迷うことがあります。今回開設した【てんかん専門外来】は、広島大学病院てんかんセンターから“てんかん専門医の資格を有する脳外科医”が来て診療してくれますので、よりの確な診断と治療が行えるものと考えます。けいれん発作を反復している患者さんは勿論、普段みられないような異常な言動が発作性に生じるような場合にはてんかんの可能性がありますので、ご紹介頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



# 改元雑記

廿日市記念病院 院長 浅野 拓



**4** 月1日に、新しい元号が万葉集を引用して「令和」と改元されると政府から発表され、5月1日から新元号の発令となりました。

新天皇の即位で、宮中行事に合わせ例年のゴールデンウィークが10日間の長期連休になり、連休の過ごし方は終わってみると賛否両論だったと思われます。

国内でも会社、医療機関、教育機関を含め、「令和」と命名したり改名したところも、ちらほら見受けられます。

現在、世界で独自の元号を使っている国は日本だけです。我々日本人は、生まれ年はほとんどの人が、昭和・平成などの元号で答え、西暦は日本人同士ではあまり使わないと思います。しかし、例えばオリンピックなどの各種の行事は、西暦でないとピンと来ません。

皆さんはカレンダーや手帳で西暦-元号の対照表をよく使っていると思いますが、私は小学生の頃に、誰が作ったかは知りませんが、担任の先生から教えてもらった次のような語呂合わせを暗唱していました。『昭和クニ子(925)よ、大正(だいしょう)濃いい(911)、明治ミルクをのみやむな(867)』と！

例えば、大正15年(12月25日は昭和元年と重なる)は $911+15=1926$ 年、平成元年(1月8日から、昭和64年は1月7日まで)は $925+64=1989$ 年であり、小生らの団塊世代が生まれた昭和22年は $925+22=1947$ 年という風に。

現在、明治は殆ど使われなくなって来ましたが、上記に平成・令和を加えた語呂合わせも、個人的に作ってみたいかがでしょう！



# 01 | 新入職員研修

清風TOPICS

本年は新たに43名の新入職員を迎え、例年通り3日間の宿泊を含めた研修を行いました。先輩職員とのつながりと、同期職員のつながりをもって、厳しいながらも楽しい職場作りをしています。

研修期間：4月1日～8日



▲入職式の様子

## 入職式や自己紹介など

廿日市記念病院 看護科 日浦 夏希



入職式では「社会人は学生とは違う。社会人としての自覚を持つように。」とお話がありました。入職式に出席するまでの私は、これからの生活に対して緊張と不安ばかりで、社会人としてどうしていきべきかをきちんと考えることが出来ていませんでした。そのため、入職式に参加することで社会人になったことを改めて実感すると同時に、社会人として少しでも成長していくことが出来るように、この研修を通して多くのことを吸収していきたいと感じました。

また、自己紹介では同期の前で自分を表現したり、同期の話を聞いたりすることで、私と同じように新社会人として働くことに対して様々な想いを抱いているということを知り、少し仲間意識が芽生えました。まだこれからの対して不安はありますが、この不安を力に変え、同期と支え合い、清風会で働くことで社会貢献に努めていきたいと感じました。

## 接遇研修

五日市記念病院 看護科 大野 由衣

新入職員研修2日目には、1日かけて接遇について学ばせて頂きました。まず社会人と学生の違いについてグループワークを通して考え、改めて社会人としての自覚を持つことが出来ました。これから沢山の方々と関わる上でのコミュニケーション能力として、良い第一印象を持ってもらうためには外見だけでなく、動作・言葉遣いなどの言動に気をつけることの必要性や、会話をする際には自分の価値観で物事を捉えず、相手の言いたいことを察知し聴くことの重要性を学びました。また、ビジネスマナーとして実際に動作の練習を行い、お辞儀の仕方や仕草などの体験を通して学ぶことが出来ました。今後様々な方と関わる際に、接遇研修で学んだことを活用していきたいと思います。



## グループワーク取り組みについて

五日市記念病院 リハビリ技術科 吉崎 沙弥香



新入職員研修では、様々な職種の方と同じ班になり「社会に望まれる医療とは」という病院の理念について話し合い、発表しました。私達の班は「病院・医療者・地域」の3つの観点から、それぞれが学生時代に学んだこと、その体験から得た患者さんの思いや私達が医療者として取り組めることを出し合いました。1人では考えがまとまらずに苦戦した時、班全員で考えることで言葉を補足し、より根拠のある内容として発表することが出来ました。

最初は緊張していたけれど、班活動を通して仲を深めることが出来、これからは清風会の一員、同期として働けることを嬉しく思います。それぞれの強みを活かしつつ、情報を共有して協力し合い、今後の業務に取り組みたいです。

## グループワーク発表 .....

五日市記念病院 診療情報管理課 木原 茉莉

1週間の新入職員研修を通して、社会人にとって大切な事や清風会について理解する事が出来ました。これからの心構えや、身に付けておくべきことを学んでいくと、だんだん意識が高まり社会人としての自覚が持てるようになりました。研修中は、清風会の理念である「社会に望まれる医療」についてグループワークを行いました。色々な職種で話し合うことによって様々な意見が挙がりました。どこの班も共通して挙げられていたのは「思いやり」でした。私たちはまだ新人なので、出来る事は多くありません。その中で、私たちでも出来る事を考えようということで、患者さんの思いや気持ちをしっかり考えて行動をしていこうと目標を立てました。グループワークで立てた目標を忘れず、今後の業務に活かしていきたいと思います。



## 救急蘇生研修会 .....

五日市記念病院 リハビリ技術科 長沼 真央



今回新人研修の一環として、心肺蘇生訓練を学ばせて頂きました。救急隊員の方や先輩方から教えて頂きながら、実際に人が倒れたことを想定して行いました。個人的には実演しながら行うことが初めてであったため、今後同じような状況になってしまった際へ向けて、とても勉強になりました。胸骨圧迫の位置、強さ、AEDを置く位置、貼るタイミング等、実際に行ってみなければ分からないことばかりで、今後万が一に備えて自分がどう行動すべきかを学びました。その中で特に強く感じたことは、胸骨圧迫の大変さでした。30回×4セットを行いましたが、後半はとても疲れており十分に胸骨圧迫が出来ていませんでした。心臓に対し効果的な刺激を行うためにも、周りの方々と協力しながら行うことへの重要性を強く感じました。

## 広島県の歴史学習とテーブルマナー .....

廿日市記念病院 リハビリ技術科 赤城 綾香

1週間の新入職員研修を通して、清風会の理念、社会人としての心構えやマナー等を学ばせて頂きました。

最終日には、広島県の歴史や、社会人となるにあたって必要なテーブルマナーの知識を深めることが出来ました。広島県の歴史については、広島平和記念資料館、江田島の術科学校、大和ミュージアムを見学しました。戦争の悲惨さを改めて学ぶと共に、広島県には貴重な建造物や資料が沢山存在していることを知ることが出来ました。テーブルマナー研修では、初めての体験であったこと、上司や先輩方と同じテーブルだったことから緊張しましたが、非常に有意義な勉強をさせて頂くことが出来ました。

今回の研修で学んだことを忘れず、社会人として、清風会の職員として精一杯励んでいきたいです。



## 研修全般 .....

五日市記念病院 看護科 松重 綾乃

新入職員研修を終えて、社会人としてのマナーや清風会における法人の理念、各病棟の特徴などについて学ぶことが出来ました。最初は不安や戸惑いがありましたが、一日一日学びが増えていき、充実した研修となりました。また、グループワークや院外研修などがあったことにより、多くの同期との関わりをもつことが出来ました。

グループワークでは「社会に望まれる医療」についてグループで意見を出し合い発表しました。このことから他職種との話し合いがより良い医療の提供に繋がることがわかりました。この研修で学んだことを活かし清風会の一員として日々励んでいきたいです。

# 02 | 新人歓迎会(互助会)

清風 TOPICS

## 新人歓迎会を終えて

この度はお忙しい中新入職員歓迎会を開いて頂き、本当にありがとうございました。入職してから日が浅く、このような会に参加するのは初めてだったため、始めはとても緊張していました。また、臨床検査技師は私1人だったため、心細く不安な気持ちも大きかったです。しかし、久しぶりに同期と話を交わす事が出来た事から、職種は違えどもそれぞれ困難を乗り越えながら一生懸命頑張っている姿を知り、同期の大切さをより一層感じました。

実際に参加してみて、先輩方とお酒を飲みながら終始リラックスしてお話することが出来、とても楽しい時間となりました。オペ業務などこれから業務の幅を広げた時、他職種の先輩方に大変お世話になることから、他部署の先輩方とも話す機会を作っていただけた事を嬉しく思います。どんな自己紹介をしようか私なりに悩んで考えたのですが、皆さんが温かいリアクションをして下さり、より一層打ち解ける事が出来たと思います。

## 新人歓迎会を終えて

この度は、新人歓迎会という盛大な会を開いて頂きありがとうございました。私は、まだ慣れない環境の中で不安や緊張の思いを抱えたまま入職して数週間たった頃に参加させて頂きました。このような大人数での会に参加するのは初めてだったこともあり、さらに全くわからない先輩方を目の前にし、緊張していましたが、お酒を交わしたり、食事をとったりする中で、徐々に緊張もほぐれていきました。その中でも同部署の優しい先輩から様々なお話が聞けたことにより、これから看護師として働く上での期待やいろいろな考えを持つことが出来ました。また、院長を始め、五日市の職員だけでなく廿日市の職員の方々や他職種との交流をする機会にもなり、職種間の壁を作ることなく親交を深めることが出来たように思います。新入職員の自己紹介にも一人一人個性があり、自分をアピールするため、必死に特技を披露する人も

### 五日市記念病院 臨床検査科 金田 季里子

入職してから1ヶ月が経ちましたが、1日が非常に早く過ぎるほど忙しく、業務を覚えることに必死です。一步一步ではありますが、失敗を繰り返しながらチームの一員として自分が出来る事が増える事を嬉しく感じておりますし、臨床検査技師の業務を幅広く行う事が出来る環境にやりがいを感じています。また、業務中は先輩方が手厚くご指導下さり、休憩中はプライベートの事をお話してリフレッシュ出来る環境があり日々頑張ることが出来ています。多くの人の支えが有り今の私がいることを胸に、日々成長していきたいと思います。



### 五日市記念病院 看護科 杉本 真菜

いればコトを披露する人もいて、沢山の笑いに包まれ、とても楽しく賑やかで貴重な時間を過ごすことが出来たと感じています。

そしてこのような会を開催して頂いたからこそ、その後の病棟勤務にもすぐ馴染むことが出来、本当に感謝しています。

現在入職して数ヶ月がたち、少しは慣れてきたころですが、日々失敗の繰り返しで覚えることも沢山あり、毎日学習に追われて辛く、逃げだしたくなる時もあります。しかし先輩方から優しく丁寧に指導して頂けることはとても嬉しいことで、日々学び多い毎日を過ごしています。今後も先輩方の言葉を真摯に受け止め、少しずつではありますが成長し看護師として誇りを持って勤めることが出来るように、初心を忘れることなく仕事に励み精進していきたいと思います。

# 03 | 清風会芸術奨励作品展

清風TOPICS

清風会では、平成25(2013)年より、芸術文化教育の振興と芸術作品の展示を通じた療養環境の向上を目的に、広島市立大学芸術学部の学生・卒業生の優秀作品を院内展示する『清風会芸術奨励作品展』を開催しています。今回は第6回目になりますが、作品展示にあたり、広島市立大学で学び、意欲的に制作活動に励む若い作家の皆様の作品を、患者さんやご家族、多くの方々にご鑑賞いただきたいと考え、院内展覧会を企画・実施しました。今回の開催につきましても、予想を大きく上回る多くの方々にご来場頂き、感謝申し上げます。

例年、展示作品の中から優秀作品を選出後、購入し、五日市記念病院、廿日市記念病院へ展示をしており、今後もこの『清風会芸術奨励作品展』を継続実施し、芸術文化教育の振興と療養環境の向上に努めて参りたいと考えております。



出展：広島市立大学 芸術学部

会期：平成30年11月12日(月)～16日(金)

会場：五日市記念病院 新館1階 第3待合室

主催：社会医療法人 清風会

来場者数  
計178名

## 展示作品

全11点

社会医療法人 清風会



「かさ」 谷山 楓



「PRISM」 片島 蘭



「窓際のパレード」 木須 悠太



「Filtration」 田中 鵬一



「漂い揺れる」 松本 凌介



「トオトウミと夢の国」 鈴木 奈緒



「深淵」 井上 舞



「回家」 高 勲



「ふうか」 田頭 礼華



「黄が香る」 中谷 彩加



「カブトガニ」 黒岩 悠史

# 04 | ホームページリニューアル

清風 TOPICS

## 2019年4月、法人全体のホームページをリニューアルしました！

WEBサイト更新プロジェクト/合同広報委員会/清風会管理本部企画部門

当法人はこの春、インターネット上のホームページ（WEBサイト）のページ構成やサイトデザインを全面的にリニューアルしました。ご利用いただく皆さまに、より快適にWEBサイトを使って頂けるよう、スマートフォンからでも、さらに分かりやすく見やすいデザインに変更しています。

プロジェクトメンバーをはじめ全職員が一丸となり、記事の選定や原稿記載、撮影など一つの目標に向かい作り上げて

いきました。

作成にあたり、関係者の皆さまにご協力を頂きましたことに、この場を借りて感謝申し上げます。

今後も、患者さんや医療従事者、ご利用いただく皆さまに向け有益な情報をご提供し、さらに充実したWEBサイトにして参ります。



スマホの画面は  
こちらから  
ご覧下さい！



撮影に  
ご協力頂いた皆さま、  
ありがとうございました。



# 平成31年 学会発表実績

(1月～3月)

回復期リハビリテーション病棟協会  
第33回研究大会(千葉県)



## 【県外】

| 開催日   | 学会名                          | 発表場所 | 演題                                                                       | 配属  | 部署  | 科                    | 氏名   |
|-------|------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----------------------|------|
| 1月25日 | 第29回<br>日本心血管画像動態学会          | 福岡県  | 左心耳・左心房血栓の診断・治療を<br>経食道心エコーに加えて、MDCTに<br>より経過観察を行った3例                    | 五日市 | 診療部 | 脳神経外科                | 湯谷 剛 |
| 2月16日 | 第124回 UCG談話会                 | 大阪府  | 重度のAR・PAFに対して大動脈弁置<br>換手術。左心耳縫縮術施行後に左房<br>壁血栓、左心耳血栓を認めた無症候<br>性心原性脳塞栓の1例 | 五日市 | 診療部 | 脳神経外科                | 湯谷 剛 |
| 2月21日 | 回復期リハビリテーション病棟協会<br>第33回研究大会 | 千葉県  | 回復期リハビリテーション病棟にお<br>ける転倒予防の取り組み～転倒予<br>防ラウンドを通して見えてきたこと～                 | 五日市 | 看護部 | 回復期<br>リハビリ病棟<br>看護科 | 田邊佳那 |
| 2月21日 | 回復期リハビリテーション病棟協会<br>第33回研究大会 | 千葉県  | 「できることは自分でしたい!」他職<br>種・多病棟との連携によりスムーズ<br>に生活期へ移行した症例                     | 五日市 | 技術部 | リハビリ技術科              | 大杉元気 |
| 2月21日 | 回復期リハビリテーション病棟協会<br>第33回研究大会 | 千葉県  | 職場での直接訓練により早期復職を<br>果たした症例に対する考察                                         | 五日市 | 技術部 | リハビリ技術科              | 加藤千尋 |
| 3月21日 | 第35回<br>スパズムシンポジウム学術集会       | 神奈川県 | 症候性脳血管攣縮ZEROを見据えた<br>破裂脳動脈瘤の外科治療                                         | 五日市 | 診療部 | 脳神経外科                | 坪井俊之 |
| 3月21日 | 第48回<br>脳卒中の外科学会学術集会         | 神奈川県 | 再発ZEROを目指した理想的な<br>closure lineによる動脈瘤クリッピン<br>グの工夫                       | 五日市 | 診療部 | 脳神経外科                | 坪井俊之 |
| 3月21日 | 第48回<br>脳卒中の外科学会学術集会         | 神奈川県 | 出血発症後、水頭症をきたした四丘体<br>部海綿状血管腫の外科治療                                        | 五日市 | 診療部 | 脳神経外科                | 坪井俊之 |

## 【県内】

| 開催日   | 学会名                      | 発表場所 | 演題                                            | 配属  | 部署  | 科                    | 氏名   |
|-------|--------------------------|------|-----------------------------------------------|-----|-----|----------------------|------|
| 1月13日 | 県看護協会廿日市支部<br>看護研究発表会    | 広島県  | 高次脳機能障害による複合的障害<br>を持つ患者のセルフケア能力向上に<br>向けての看護 | 廿日市 | 看護部 | 回復期<br>リハビリ病棟<br>看護科 | 井唯砂織 |
| 1月20日 | 第29回 佐伯医学会総会             | 広島県  | 緩和ケア病棟入院前における療養場<br>所別医療用麻薬処方状況調査             | 廿日市 | 技術部 | 臨床薬剤科                | 國崎大輔 |
| 2月9日  | 広島県病院協会 広島西支部<br>看護研究発表会 | 広島県  | 化学療法を受ける造血器腫瘍患者が<br>看護師に求めること                 | 五日市 | 看護部 | 一般病棟<br>看護科          | 中島幸子 |
| 2月17日 | 第44回<br>広島県病院協会 (優秀賞受賞)  | 広島県  | 患者のFMの値と入浴移行の関連性<br>について                      | 廿日市 | 看護部 | 回復期<br>リハビリ病棟<br>介護科 | 築道光太 |
| 2月17日 | 第44回<br>広島県病院協会          | 広島県  | ロボット技術を活用したリハビリテ<br>ーション支援                    | 五日市 | 技術部 | リハビリ技術科              | 林 真央 |
| 2月17日 | 第44回<br>広島県病院協会          | 広島県  | その人らしい最期に向けて～家族に着<br>目した症例～                   | 廿日市 | 技術部 | リハビリ技術科              | 藤原弘奈 |
| 2月17日 | 第44回<br>広島県病院協会          | 広島県  | 病院から在宅、施設へシームレスな<br>食支援～栄養情報提供書の活用と<br>今後の課題～ | 五日市 | 技術部 | 臨床栄養<br>管理科          | 庭尾優子 |

# 五日市記念病院 統計情報

## 手術実施件数 (平成30年1月～12月)

手術件数:214件

|           |          |
|-----------|----------|
| 予定手術:146件 | 緊急手術:68件 |
| 全身麻酔:119件 | 局所麻酔:95件 |

### 脳神経外科

脳神経外科は、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)、頭部外傷、脊椎疾患(脊椎ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など)、脳腫瘍(下垂体腫瘍を含む)、水頭症、顔面けいれんなど多彩な疾患に対応し、緊急手術も行っています。

**脳動脈瘤**:脳卒中治療ガイドラインに準じて、開頭手術・血管内手術の双方の治療を実施しています。平成30(2018)年は脳動脈瘤頸部クリッピングが増加しました。

**脳梗塞**:発症4.5時間以内であれば、血栓溶解療法(t-PA静注療法)を検討します。平成30(2018)年には19件で投与しました。必要に応じて発症8時間以内であれば血管内手術(カテーテルによる血栓回収術、内頸動脈ステント留置術やバイパス手術)も併用しています。



| 手術名                                     | 件数  |
|-----------------------------------------|-----|
| 脳動脈瘤クリッピング術(破裂11、未破裂36)                 | 47  |
| 脳動脈トラッピング術<br>(ハイフローバイパス術2例、椎骨動脈トラップ3例) | 5   |
| 脳動脈瘤被包術                                 | 1   |
| 脳腫瘍摘出術                                  | 8   |
| 脳動静脈奇形(AVM)摘出術                          | 1   |
| 脳室ドレナージ術                                | 6   |
| 開頭血腫除去術                                 | 9   |
| 慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術                            | 35  |
| シャント術                                   | 7   |
| 微小血管減圧術(顔面痙攣)                           | 1   |
| 頸動脈内膜剥離術(CEA)                           | 17  |
| 小計                                      | 137 |

### ●血管内手術

| 手術名                    | 件数 |
|------------------------|----|
| 脳動脈瘤コイル塞栓術             | 1  |
| 経皮的ステント留置術(頭蓋内血管、椎骨動脈) | 4  |
| 脳腫瘍塞栓術                 | 2  |
| 頸動脈ステント留置術(CAS)        | 21 |
| 急性期血行再建術               | 13 |
| 小計                     | 41 |

### ●脊椎 末梢神経

| 手術名     | 件数 |
|---------|----|
| 手根管開放術  | 8  |
| 腰椎椎弓切除術 | 7  |
| 頸椎椎弓形成術 | 2  |
| 椎間板ヘルニア | 4  |
| 頸椎前方固定術 | 1  |
| その他     | 2  |
| 小計      | 24 |

### ●その他

| 手術名    | 件数 |
|--------|----|
| その他の手術 | 12 |

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 214 |
|----|-----|

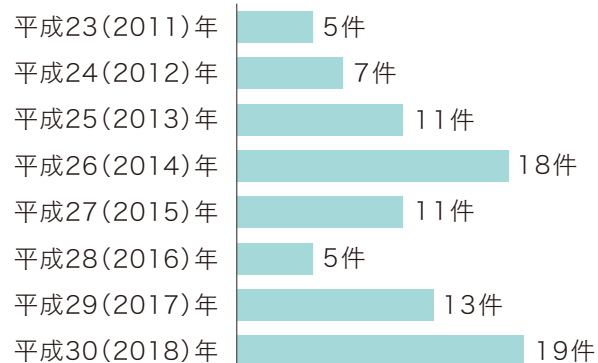
当院の治療:必要に応じて広島大学の専門医師とも相談し、共に治療に当たることもあります。

## t-PA静注療法実施件数 (平成23年～30年)

t-PAとは、tissue Plasminogen Activator(組織プラスミノゲン・アクチベーター)の略で、専門的にはプラスミノゲンをプラスミンに変換して線溶系を活性化することで血栓を溶解させる薬剤です。発症4.5時間以内の急性期脳梗塞に対応する効果が認められ、平成17(2005)年10月に国内で承認されました。

五日市記念病院は急性脳卒中に対応する施設として、救急隊との連携を含め今後も情報提供を続けて参ります。

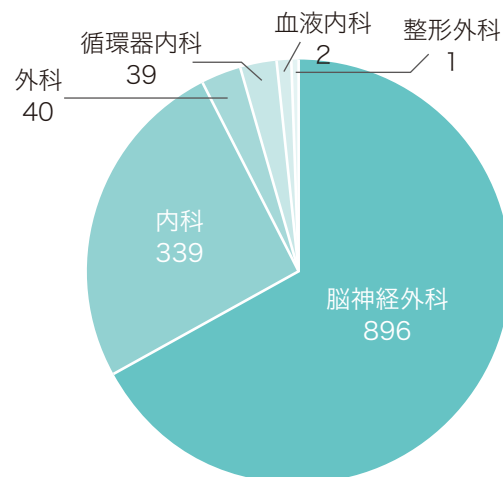
### t-PA静注療法実施件数の推移 (対象年:1～12月)



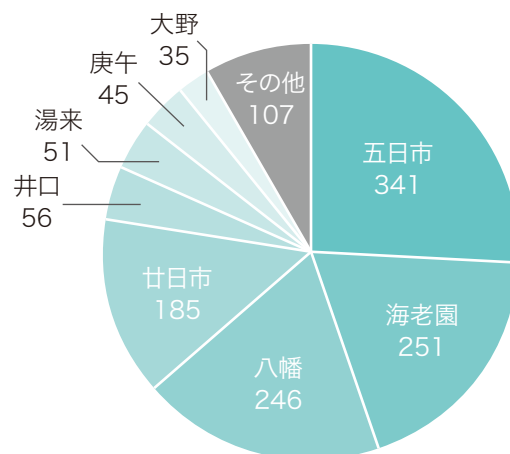
## 救急搬入者数 (平成30年1月～12月)

| 分 隊 別 |     | 救急搬入数 |
|-------|-----|-------|
| 佐伯区   | 五日市 | 341   |
|       | 八幡  | 246   |
|       | 海老園 | 251   |
|       | 湯来  | 51    |
| 周辺地区  | 廿日市 | 185   |
|       | 大野  | 35    |
|       | 大竹  | 1     |
|       | 宮島  | 11    |
|       | 井口  | 56    |
|       | 己斐  | 8     |
|       | 庚午  | 45    |
|       | 三篠  | 1     |
|       | 都   | 11    |
|       | 基町  | 7     |
| その他   | 江波  | 14    |
|       | 大手町 | 7     |
|       | 光   | 1     |
|       | 段原  | 6     |
|       | 宇品  | 4     |
|       | 沼田  | 14    |
|       | 祇園  | 3     |
|       | 佐東  | 1     |
|       | 安佐  | 2     |
|       | 府中  | 4     |
|       | 海田  | 4     |
|       | その他 | 8     |
| 計     |     | 1,317 |

### 診療科別搬入数



### 救急分隊別搬入数



# 健康づくり講座のご案内

廿日市記念病院では、地域の方々の健康増進支援として健康づくり講座を開催しており、今年で3年目を迎えました。

1年目は、管理栄養士を中心に食をテーマに講座を開催してきましたが、2年目より医師、薬剤師、看護師、療法士など各専門職を加え、当院全体を挙げて健康づくり講座に力を注いできました。3年目の今年も各専門職による講座を12月まで毎月開催していく予定です。

今年度の第1回目は特別講演として五日市記念病院の向田院長が講師を担当し、「脳卒中予防」をテーマにした講座を5月22日に開催しました。

第2回以降は当院の医師、薬剤師、看護師、療法士など各専門職による講演を予定しています。



脳卒中予防の主役は皆様方ご自身です。一緒に勉強しましょう。



廿日市記念病院 本館4階の研修室にて、毎月第3水曜日に開催しています。

## ●2019年度 健康づくり講座年間予定表（第2回～第8回）

| 開催回数 | 日程<br>(14:00～15:00) | 発表部署・発表者                           | タイトル                             |
|------|---------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 第2回  | 6月20日               | リハビリ技術科 言語聴覚士                      | 嚥下体操                             |
| 第3回  | 7月18日               | リハビリ技術科 理学療法士<br>医療福祉課 医療ソーシャルワーカー | 廿日市記念病院の役割<br>転倒予防 ～足の指の大切さ～     |
| 第4回  | 8月22日               | 診療部 吉屋医師<br>臨床検査科                  | 緩和ケア病棟における治療とは<br>血液検査の結果を読み解こう！ |
| 第5回  | 9月19日               | 臨床薬剤科                              | 未定                               |
| 第6回  | 10月17日              | 診療部 高柿医師<br>画像診断科                  | 未定                               |
| 第7回  | 11月21日              | 臨床栄養管理科                            | 未定                               |
| 第8回  | 12月19日              | 診療部 浅野院長                           | 未定                               |



## 五日市記念病院 地域医療連携室からのご紹介

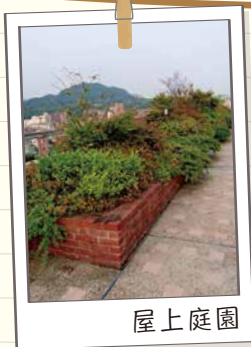
# 緑に 癒やされて (\*^o^\*)



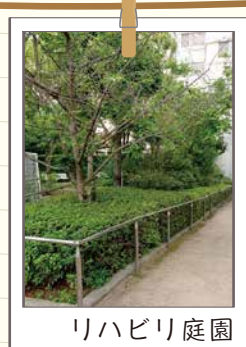
当院外来待合いや病棟には、随所に観葉植物が置かれています。新館待合では窓から庭園が見え、年末から梅の花、梅雨には紫陽花が咲き、秋には紅葉、冬には雪景色も楽しめます。病院敷地内には、リハビリ庭園や屋上庭園があり、患者さんの歩行訓練のコースになったり、ご家族と一緒に散歩されるコースになっており、自然にあふれた緑のある環境です。



庭園



屋上庭園



リハビリ庭園



新館待合



新館待合



連携室前の  
廊下にいます



オキザリス



スパティフィラム



地域医療連携室にも、患者さん・ご家族を迎えてくれる観葉植物を置いています。みんなで愛情込めてお世話をしているので、いつも元気いっぱい。枯れたことはありません。写真の白いかわいい花と三角の葉っぱの『オキザリス』は、1年中花を咲かせてくれています。地域医療連携室へ来て下さる患者さんやご家族の中にも「めずらしい」「かわいい」と興味を持って下さっている方がおられます。

地域医療連携室には様々な方が相談に来られます。少しでも癒やされリラックス頂けるよう、み・ど・りの力を借りた環境作りをしています。お気軽にご来室下さい。



五日市記念病院  
地域医療連携室

五日市記念病院

連絡先(代表) TEL:082-924-2211 FAX:082-924-8111 e-mail:msw@seifu.net  
(直通) TEL:082-924-2343 FAX:082-924-2215

廿日市記念病院

連絡先(代表) TEL:0829-20-2300 FAX:0829-20-2301 e-mail:msw@seifu.or.jp  
(直通) FAX:0829-20-2777



## 診療担当 医師の ご紹介

### 五日市記念病院

#### 脳神経外科

院長 <sup>むかだ</sup> 向田一敏(昭和54年広島大学卒)  
副院長 <sup>ちやき</sup> 茶木隆寛(昭和58年愛媛大学卒)  
診療部長 坪井俊之(平成9年宮崎医科大学卒)  
技術部長 梶原洋介(平成13年広島大学卒)  
理事長 梶原四郎(昭和47年広島大学卒)  
光原崇文(平成13年広島大学卒)※  
片桐匡弥(平成16年広島大学卒)※

#### 内科

副院長・科長 土井謙司(昭和53年岡山大学卒)  
ドック科長 <sup>いんぐ</sup> 印具 誠(昭和57年自治医科大学卒)  
藤田順子(昭和63年藤田保健衛生大学卒)  
黒木ゆり(昭和56年広島大学卒)  
竹内有則(平成23年広島大学卒)  
瀬山敏雄(昭和50年広島大学卒)※

#### 循環器内科

科長 湯谷 剛(平成2年愛媛大学卒)  
免出 朗(平成11年山梨医科大学卒)  
林 康彦(昭和47年広島大学卒)※

#### 血液内科

副院長・科長 許 泰一(昭和52年広島大学卒)  
名越久朗(平成15年広島大学卒)※

### 廿日市記念病院

#### 脳神経外科

院長 浅野 拓(昭和48年岡山大学卒)  
高柿尚始(平成14年広島大学卒)  
理事長 梶原四郎(昭和47年広島大学卒)

#### 内科

科長 横矢 仁(昭和48年広島大学卒)  
益田智子(平成16年広島大学卒)※

#### 外科

副院長 <sup>ばんしょうだに</sup> 番匠谷孝廣(昭和51年広島大学卒)  
緩和ケア施設長  
吉屋智晴(平成14年広島大学卒)  
高橋 元(平成20年広島大学卒)

#### 循環器内科

免出 朗(平成11年山梨医科大学卒)

#### 呼吸器内科

中川三沙(平成15年広島大学卒)※  
三浦慎一郎(平成23年広島大学卒)※

※印:非常勤医師  
(令和元年8月1日現在)

### 五日市記念病院

## 脳・血管ドックのご案内

#### ドックコース

- A 脳ドック……………40,000円 D 簡易血管ドック…55,000円
- B 簡易脳ドック………25,000円 E 脳+血管ドック…80,000円
- C 血管ドック……………65,000円

#### オプション

肺癌検診(肺CT検査)……………8,000円  
内臓脂肪測定(CTによる)……………2,000円

- 脳ドックは、毎週木・金曜日となります。
- 血管ドックは毎週木曜日に実施致します。  
血管ドックには、肺癌検診(肺CT検査)が含まれます。  
なお、複数回の来院が必要となります。

社会医療法人 清風会

**五日市記念病院**

日本脳ドック学会認定施設

〒731-5156 広島市佐伯区倉重1-95

ドックについての  
お申し込み・お問い合わせは

TEL

**082-924-2211**

| 検査項目          | 脳ドック |   | 血管ドック |    | 脳+血管ドック |
|---------------|------|---|-------|----|---------|
|               | A    | B | C     | D  | E       |
| 身長・体重・血圧・腹囲   | ○    | ○ | ○     | ○  | ○       |
| 視力            | ○    | ○ | ○     | ○  | ○       |
| 聴力            | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 頭部MRI         | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 頭部MRA         | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 頸部MRA         | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 冠動脈CTA        |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 体幹部CT         |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 体幹部CTA        |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 血液検査・尿検査      | ○    |   | ○     | △※ | ○       |
| 便潜血           | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 心電図           | ○    |   | ○     | ○  | ○       |
| 胸部X線          | ○    |   | ○     | ○  | ○       |
| 骨密度測定         | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 脈波図           |      |   | ○     | ○  | ○       |
| 眼底検査          | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 頸動脈エコー        | ○    | ○ | ○     | ○  | ○       |
| 長谷川式簡易知能評価    | ○    | ○ |       |    | ○       |
| 内臓脂肪測定(CTによる) | ○    |   | ○     |    | ○       |
| 肺癌検診(肺CT検査)   |      |   | ○     | ○  | ○       |

※△:採血によるクレアチニン検査のみ

# 五日市 記念病院 のご案内

## 脳神経外科を中心に 全身管理のできる急性期救急病院

|        |                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------|
| 所在地    | 広島市佐伯区倉重1-95 TEL:082-924-2211                                       |
| 診療科目   | 脳神経外科、内科、循環器内科、血液内科、リハビリテーション科、脳ドック・血管ドック                           |
| 総病床数   | 180床(一般病棟60床、回復期リハビリ病棟80床、療養病棟40床)                                  |
| 外来診療時間 | 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)<br>午後2時30分～午後5時30分(受付時間:午後2時～午後5時) |
| 休診日    | 土曜日午後・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/29～1/3)                                  |

### ●外来診療スケジュール並びに担当医師

(令和元年8月1日現在)

|    |    | 脳外科<br>(初診)                 | 脳外科<br>(再診)     | 内科          | 内科   | 血液<br>内科 | 循環器<br>内科     | 循環器<br>内科 | 脳<br>ドック | 血管<br>ドック |
|----|----|-----------------------------|-----------------|-------------|------|----------|---------------|-----------|----------|-----------|
| 月曜 | 午前 | 向田                          | 坪井              | 梶原(洋)       | 竹内   | 藤田       | 許             | 湯谷        |          |           |
|    | 午後 |                             |                 |             | 黒木※3 | 印具       | 許             |           |          |           |
| 火曜 | 午前 | 坪井                          | 向田              | 梶原(洋)       | 黒木   | 印具       | 許             | 湯谷        | 林        |           |
|    | 午後 |                             |                 |             |      | 藤田※4     | 許             |           | 梶原(四)・印具 | 林         |
| 水曜 | 午前 | 交替制                         | 茶木              | 梶原(四)       | 土井   | 印具       | 許             | 免出        |          |           |
|    | 午後 |                             |                 |             |      | 黒木       | 許             |           |          |           |
| 木曜 | 午前 | 梶原(洋)                       | 向田              | 茶木          | 黒木   | 土井       | 許・名越          | 免出        | 検査日      | 検査日       |
|    | 午後 |                             |                 |             |      | 藤田       | 許             |           |          |           |
| 金曜 | 午前 | 茶木                          | 向田              | 梶原(四)※2     | 黒木   | 藤田       | 許             | 湯谷        | 検査日      |           |
|    | 午後 |                             |                 |             |      | 竹内       | 許             |           |          |           |
| 土曜 | 午前 | 第1片桐※1<br>第2・4・5光原<br>第3交替制 | 第1・2・3・4<br>交替制 | 第2・4・5梶原(四) | 瀬山   | 交替制      | 許<br>第1・3・5名越 | 交替制       |          |           |

※1 第1土曜日前午、片桐は機能脳外科外来を行っています。 ※2 第3土曜日前日の金曜は休診。

※3 月曜日午後、黒木にて癒し外来を行っています。 ※4 火曜日午後、藤田にて禁煙外来を行っています。

■ 脳外科初診外来



スマホの方は  
こちらから



### アクセス

#### 自家用車

患者様用駐車場141台  
JR五日市駅より10分

#### 公共交通機関

- JR五日市駅北口よりバス  
(薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)  
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島電鉄楽々園駅よりバス(湯来温泉行き)  
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス  
(東観音台、薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)  
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス(四季が丘、阿品台行き)  
波出石(はでいし)バス停下車、徒歩3分

# 廿日市 記念病院 のご案内

## 心を重視したホスピスと 総合リハビリテーション病院

**所在地** 廿日市市陽光台5-12 TEL:0829-20-2300

**診療科目** 脳神経外科、内科、循環器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科

**総病床数** 126床(回復期リハビリ病棟60床、療養病棟42床、緩和ケア病棟24床)

**外来診療時間** 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)

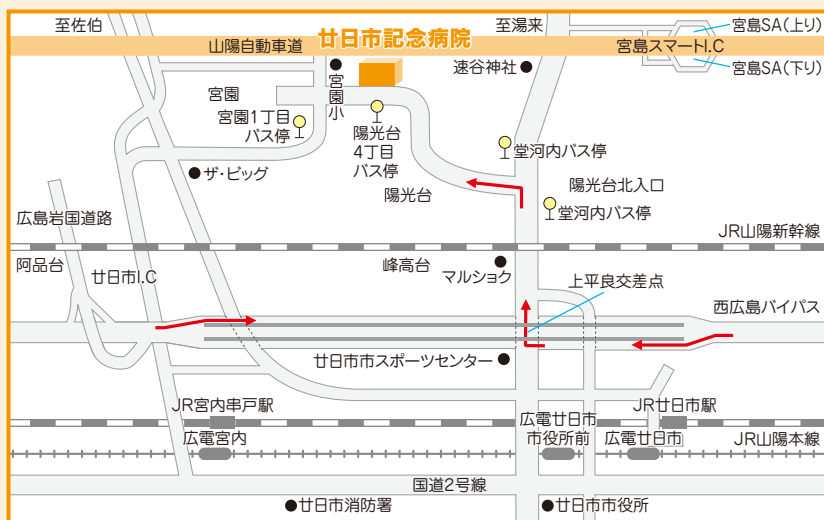
**休診日** 土曜日・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/29～1/3)

### ●外来診療スケジュール並びに担当医師

(令和元年8月1日現在)

|     |     | 脳神経外科             | 内 科                   | 呼吸器内科 | 循環器内科             | 緩和ケア  |
|-----|-----|-------------------|-----------------------|-------|-------------------|-------|
| 月 曜 | 午 前 | 梶 原※ <sup>1</sup> | ( 呼 内 )※ <sup>2</sup> | 中 川   |                   |       |
| 火 曜 | 午 前 | 浅 野               | 益 田                   |       | 免 出※ <sup>3</sup> |       |
| 水 曜 | 午 前 | 浅 野               | ( 呼 内 )※ <sup>2</sup> |       |                   | 番 匠 谷 |
| 木 曜 | 午 前 | 梶 原※ <sup>1</sup> |                       |       |                   | 高 橋   |
| 金 曜 | 午 前 | 浅 野               | ( 呼 内 )※ <sup>2</sup> | 三 浦   |                   |       |
| 土 曜 | 午 前 |                   |                       |       |                   |       |

※1 月・木曜日の脳神経外科の診療は、9時30分から。 ※2 内科 横矢医師の診療は、休養中のため当面の間代診または休診とさせていただきます。なお、月・金曜日の内科診療は呼吸器内科で診療させていただきます。 ※3 火曜日の循環器内科の診療は、10時から。



### アクセス

#### 自家用車

患者様用駐車場62台  
JR宮内串戸駅または広電宮内駅より10分

#### 公共交通機関

- JR宮内串戸駅または広電宮内駅よりバスで宮園1丁目バス停下車、徒歩4分(宮園、四季が丘行き)
- 広電廿日市市役所前駅よりバスで堂河内バス停下車、徒歩5分(原、川末行き)
- 広電廿日市市役所前駅よりさくらバス(西循環)で陽光台4丁目バス停下車すぐ

スマホの方は  
こちらから



## 法人の理念

私たちは『医療は仁術』であり、  
『病院はサービス業』であることを忘れず、  
『社会に望まれる医療』の実現を目指して、  
より良質で、温かく心の通った医療を提供します。

- ☐ 私たちは、患者さまを守ります
- ☐ 私たちは、思いやりを大切にします
- ☐ 私たちは、誠実な医療を目指します
- ☐ 患者さまには人格の尊重を、  
病気に対しては厳しい目をもって  
より良い医療を目指します

## 年間行事

平成31(2019)年2月～令和元(2019)年7月

|    |       |                            |
|----|-------|----------------------------|
| 2月 | 24日   | 職員互助会(ふぐ会席&下関フリーツアー)       |
| 4月 | 1日    | 社会医療法人 清風会 入職式             |
|    | 1日～8日 | 新入職員導入研修(グランドプリンスホテル広島ほか)  |
|    | 15日   | 期末賞与 支給                    |
|    | 20日   | 職員互助会 新入職員歓迎会(オリエンタルホテル広島) |
| 5月 | 30日   | 職員互助会 総会                   |
| 6月 | 1日    | 廿日市記念病院 開院記念日              |
|    | 23日   | 職員互助会 野球観戦                 |
| 7月 | 1日    | 清風会 開設記念日<br>五日市記念病院 開院記念日 |
|    | 5日    | 法人内学会(グランドプリンスホテル広島)       |
|    | 12日   | 夏季賞与 支給                    |

## 編集後記

「令和初」の発行となりました！  
時代の節目、自身も「厄年」という節目ですが、  
気の持ちよう？精神で「昭和→平成→令和」を乗り越えて  
参ります！  
これからも『清風』をよろしくお願い致します！

(五日市記念病院/鋳物)

9ページに掲載しておりますように、  
今年の4月にホームページをリニューアルしました。  
今後も広報に力をいれて、  
WEBサイトと『清風』の充実を図っていきたいと思います。

(廿日市記念病院/光原)

社会医療法人  
**清風会**

第63号 2019年8月1日

### 管理本部

〒731-5156  
広島市佐伯区倉重1-95  
TEL (082)943-7725  
FAX (082)921-0104  
URL <https://www.seifu.or.jp>  
E-mail [kannri@seifu.net](mailto:kannri@seifu.net)



### 五日市記念病院

TEL (082)924-2211  
FAX (082)924-8111  
URL <https://www.seifu.or.jp/imh/>  
E-mail [imh@seifu.net](mailto:imh@seifu.net)



### 廿日市記念病院

TEL (0829)20-2300  
FAX (0829)20-2301  
URL <https://www.seifu.or.jp/hmh/>  
E-mail [hmh@seifu.or.jp](mailto:hmh@seifu.or.jp)

